

子どもがつくるまちin串戸 × 地域つながるプロジェクト

メンバー

【学生】	堀内 将裕 (人文学部2年)
	吉村 悠希 (人文学部2年)
	村上 佑夏 (人文学部2年)
	村重 雄介 (人文学部2年)
	本多康太郎 (人文学部2年)
	高橋 未佳 (人間環境学部2年)
【責任教職員】	山川 尚美 (人文学部教授)



目次

1. プロジェクトの目的
2. 年間日程
3. 一緒に事業に取り組んだ人や団体
4. フィールドワーク
5. 本番までの道のり
6. 本番
7. 活動を通して
8. 今後の子どもがつくるまち

2

1. プロジェクトの目的

1. プロジェクトの目的

- 子どもたちと関わる活動がしたい
- これまで経験してきた地域に密着した教育を今の子ども達にも経験してほしい

⇒串戸市民センター（廿日市市）と連携



串戸地区が持続可能な地域であり続けるために…

- 多世代が交わりながら地域活動に参画できる文化・環境の醸成
- 次世代へとつながる組織体制の充実

4

子どもがつくるまちの目的

- 自分のまちを知り、好きになる子どもを増やす
(シビックプライドの醸成)
- 世代を超えたコミュニケーションの機会を創出すること
(多世代交流支援)
- 子どもの成長を支え、見守ることにより、大人の成長を促す
(共有)
- 廿日市市（串戸地域）のまちづくりや子育てに興味を持つ市民同士をつなげ、緩やかな水平的人間関係を育むことで、まちの底力を向上させること

5

子どもがつくるまちに参加することで…

- 地域の活性化につながる
- プロジェクトの目的の実現、地域貢献につながる

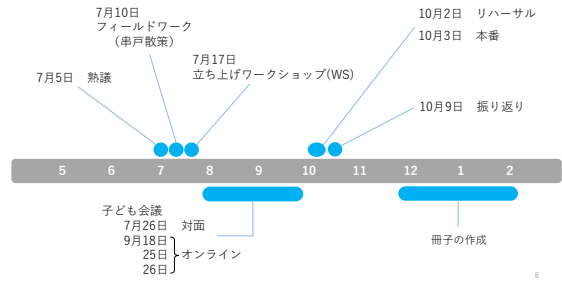


子どもがつくるまちin串戸 に参画

6

2. 年間日程

2. 年間日程



3. 一緒に事業に取り組んだ人や団体

3. 一緒に事業に取り組んだ人や団体

- ◆ 串戸市民センター →企画・運営
- ◆ FMはつかいち →YouTube配信・ネットワーク系のサポート
- ◆ 串戸地区の子ども達 →それぞれのコーナーの企画・準備・発表
- ◆ 大人スタッフ →準備・補助
- ◆ 広島修道大学 地域つながるプロジェクト
2021「子どもがつくるまちin串戸」 →企画・運営
総合司会、タイムキーパーなど

4. フィールドワーク

4. フィールドワーク

目的：串戸地区の土地や雰囲気を知る



「松本所長に案内していただきました」



5. 子どもがつくるまち 本番までの道のり

5. 本番までの道のり



立ち上げワークショップ(WS)

- どんな役割があるか・どのようにPRするのかについてグループで話し合い、発表 →モチベーションアップ
- 子どもの発想力の豊かさが垣間見えた

子ども会議

- 1回目は対面、2回目以降はオンライン
- オンライン開催に変更 →子ども達はオンラインでもできることをそれぞれが考え、準備を行った



リハーサル

- 当日のタイムテーブルに沿って行われた
- 子ども達の積極的な発言や提案によって、本番に向けた良い準備ができた

13

14

6. 子どもがつくるまち本番

6. 本番

当日(10月3日)のタイムテーブル

YouTubeで
ライブ配信

時間	予定
11:10~11:15	はつかいちの魅カクイズ①
11:15~11:45	金剛寺ファイターズ (ドッジボール)
11:45~11:50	はつかいちの魅カクイズ②
11:50~12:30	料理教室 オムライス
12:30~12:35	はつかいちの魅カクイズ③
12:35~13:05	図書コーナー 紙芝居 読み聞かせ
13:05~13:30	水耕栽培のやり方
13:30~13:35	はつかいちの魅カクイズ④
13:35~13:45	イラスト講座
13:45~13:50	はつかいちの魅カクイズ⑤
13:50~14:00	市長の終了宣言

15

16

6. 本番

子ども達が考えたコーナーではそれぞれの想いが詰まっていた成長した姿を見ることができた



はつかいちの魅カクイズ



ドッジボール



料理教室 オムライス



水耕栽培のやり方



イラスト講座



市長の終了宣言 17

6. 本番



総合司会



タイムキーパー



全体の様子

18

7. 活動を通して

7. 活動を通して見つけた課題

〇子どもがつくるまちの目的は全て

「子どもがつくるまちin串戸」に参加
を通して・・・

つまり・・・

そもそも子どもやその保護者が
参加しないと始まらない！！

という前提がある！



毎年、参加している子どもは同じ子たちばかり

参加している子ども達や大人の方に
話を聞いてみると・・・

新規で参加する子ども
がほとんどいない！！

19

20

7. 課題解決に向けて

「子どもがつくるまちin串戸」の魅力を発信する、
子どもでも大人でも読みやすい冊子を作る。



その冊子を参加した子ども達が手に持ち、友達や
同級生に宣伝していくことで、新規の子どもが参
加したいと思える！



↑子どもがつくるまちで作った冊子

21

7. 冊子の中身



22

8. 今後の子どもがつくるまち

8. 今後の子どもがつくるまち

子どもは大人が思っ
ている以上の能力を
持ち、可能性に秘め
ている・・・



子どもの参画する機会
が増え、主体性・課題
解決能力を養うことが
できるのではないか



「子どもがつくるま
ち」の中で子どもたち
が自分のやりたいこと、
表現したいことをやる



広報活動や「子どもがつくるま
ち」を進める過程での司会進行
など子ども達主体で行う
(これまで地域の大人が行って
きたもの)



23

24

最後に

松本所長、福松さん、串戸市民センターのみなさん、
早川さん、壹岐さん、FMはつかいちのみなさん、
子どもがつくるまちに参加し一緒に活動してくれた子ども達、
大人スタッフのみなさん、
子どもがつくるまちに関わってくださった串戸地区のみなさん

今回の「子どもがつくるまちin串戸」は新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催となってしまいましたが、自粛生活やオンライン授業で思うような大学生活を送ることができずにいた私たちにとって**貴重な経験**となりました。また、対面での活動ができなくなった際にはZOOMを使って活動するなど、迅速に動いて下さったおかげで、オンラインでの「子どもがつくるまち」を**成功させることができました**と思います。

活動を通して**串戸地区や子ども達の魅力**について知ることができ、多くのことを学ぶことができました。「子どもがつくるまちin串戸」に関わらせていただいたこと、心より感謝申し上げます。**ありがとうございました！**

ご清聴ありがとうございました！！

子どもがつくるまちin串戸
×
地域つながるプロジェクト